



募集①：共同研究・実証

海洋土木現場の作業環境・作業負担を改善する新規技術



港湾工事、防波堤工事などを担う海洋土木の現場は、波風や潮流、塩害など、特殊な環境条件への対応が求められます。また暑さ、臭気といった作業環境の課題、手作業が多く作業負担や作業効率化の課題があります。こうした現場の「不快」「手間」「身体的負担」を減らし、より働きやすく、効率的な現場につながる技術・製品・アイデアを募集します。既存技術の転用や、現場での実証を前提とした提案も歓迎します。また下記具体例に限らず新規技術の提案を広く募集しています。

キーワード

3K×
新規技術

【具体例】「仮設トイレの臭い・快適性対策」—— 年齢・性別問わず仮設トイレを快適に使用できる技術（本体・臭気対策等）

「消波ブロックの維持管理技術」—— 消波ブロックはその出来形管理のために識別番号の印字が必要。風雨環境下や海藻等の繁茂があっても使用できる印字技術、その他の品質管理技術

「型枠清掃負荷低減技術」—— 消波ブロック製作時にコンクリートを流し込む型枠に付着するスラッジの清掃作業（モップ等を使用した人力作業）の負荷を低減する技術

「救命胴衣×暑熱対策」—— 海洋土木作業中に着用が必須である救命胴衣は空調服との併用が難しいため、救命胴衣を着用しながら活用できる作業員を暑さから守ることのできる技術を募集

募集②：共同研究・実証

海洋・水中作業を省人化・高度化するドローン等の技術



海洋土木現場では水中での点検、作業を担う潜水士の高齢化や担い手不足が課題です。また潮流が複雑、激しい現場での作業も多く、そうした現場での使用に耐えうる水中ドローンは多くありません。実用に耐え、潜水士が行ってきた海中・海上での作業の省人化・高度化に資するドローン技術（自動航行・測位・フォトグラメトリ等）に関する実証や共同研究の提案を募集します。加えて干潟の造成・管理（耕耘等）や水産分野（貝類の漁獲等）への応用につながる提案も歓迎します。

キーワード

ドローン×
省力化

【具体例】「水中の可視化・点検」—— 水中ドローン等による点検、作業など潜水士作業負荷の低減や補完

「干潟の管理や水産業活用」—— ドローンやロボット等による干潟の耕耘や貝類の漁獲の省力化技術

スタートアップ・研究者等へのメッセージ

北海道湧別町に位置する海洋土木建設を強みとする建設会社です。1974年に生じた、ホタテ養殖が盛んなサロマ湖への流水流入による20億円もの経済被害を契機に、世界初の流水制御のための海洋構造物「アイスブーム」を官民共同研究により開発するなど、独自技術や工法の開発、特許取得を積極的に実施しています。当社の現場を活用した実証や共同研究、共同開発など、幅広い提案をお待ちしています。

関連リンク

- 世界初、流水制御のための海洋構造物 [\[外部リンク\]](#)
- 魚礁ブロック移設工法（特許取得） [\[外部リンク\]](#)
- 研究開発・学会発表等 [\[外部リンク\]](#)

募集テーマに関連する実績・アピールポイント



港湾や水産養殖のための様々な海洋工事を得意とし、多様な作業船を保有。培った技術と、地域の協力会社、漁業関係者等とのネットワークを生かし、海洋土木に関する様々なフィールドや機会提供が可能。

企業HP

